

元サッカー日本代表監督がオーナーに就任したFC今治

2014年11月、今治市民にもまだ馴染みの少ないいわゆる町のサッカークラブ「FC今治」に、元日本代表監督の岡田武史氏がオーナーに就任することがニュースで報道されました。

このニュースは今治市において大きな話題となり、そして瞬く間に全国を駆け巡り、サッカー業界に驚きを与えました。

サッカーにあまり興味のない人でも「岡田武史」の顔と名前は知っている方も多いはず。

1997年に日本代表監督となり史上初のW杯本選出場を実現。その後、Jリーグの監督を経て、2007年から再び日本代表監督を務め、2010年のW杯南アフリカ大会でチームをベスト16に導いた日本サッカーの指導者の第一人者です。

「FC今治」は今治市を本拠地とするサッカークラブ。今春から6年目のシーズンを迎えますが、クラブの歴史は

長く、1976年に発足された「大西SC」から「今越FC」「愛媛しまなみFC」、そして現在J2に所属する愛媛FCの傘下のアマチュアチーム「愛媛FCしまなみ」の活動を経て今に至るため、約40年の活動期間を有しています。

昨シーズンは、地域リーグから悲願の「JFL」昇格を果たし、全国を舞台として熱い戦いを繰り広げています。

今治に完成したサッカー専用スタジアム
“ありがとうサービス・夢スタジアム”

9月10日、いよいよFC今治のホームスタジアム“ありがとうサービス・夢スタジアム”（通称「夢スタ」）がこけら落としを迎えました。



9月10日対ヴェルスバ大分戦

5000人収容のスタジアムが超満員となり、スタジアム前のイベント広場では、バラエティに富んだ飲食スペース、子供たちが楽しめるアトラクション、インスタ映えする撮影スポットなど、サッカー以外にも楽しんでいただける一日となりました。

スタジアムビジョンは、「そこにいる全ての人が、心震える感動、心踊るワクワク感、心温まる絆を感じられるスタジアム」。

クラブの経営理念である、「次世代のため、物の豊かさより心の豊かさを大切にする社会創りに貢献する。」を実現するため、夢スタを通して今治に多くの人が集まり、多くの感動を共有していただけるよう、取り組んでいきます。



ありがとうサービス・夢スタジアム

FC今治



心の豊かさを感じられるスタジアムを今治に

株式会社今治・夢スポーツ／FC今治事務局 広報担当 青木 誠

